

### 3 防災情報の入手（どのような情報が出されるかを知っておきましょう）



大雨が降り続いたり、地震が発生すると、ため池が決壟する可能性が高まります。テレビやインターネット等を通じて、気象庁等が発表する大雨や地震に関する防災情報等を入手してください。

#### ■大雨・洪水に関する情報

気象情報等の入手先 気象庁



京都府  
土砂災害  
警戒情報



| 気象状況    | 大雨の数日<br>～約1日前                | 大雨の半日<br>～数時間前            | 大雨の数時間<br>～2時間程度前                                 | 大雨が一層<br>激しくなる        | 警報の発表基準を<br>はるかに超える大雨 |
|---------|-------------------------------|---------------------------|---|-----------------------|-----------------------|
| 発気象する情報 | 今後気象状況<br>悪化のおそれ              | 気象状況悪化                    | 災害のおそれあり  | 災害のおそれ高い              | 災害発生又は切迫              |
| と市民べき行動 | 警戒レベル1<br>早期注意情報<br>(警報級の可能性) | 警戒レベル2<br>大雨注意報<br>洪水注意報等 | 警戒レベル3相当<br>大雨警報<br>洪水警報等                         | 警戒レベル4相当<br>土砂災害警戒情報等 | 警戒レベル5相当<br>大雨特別警報等   |
|         | 災害への心構えを<br>高める               | 自らの避難<br>行動を確認            | 危険な場所から<br>高齢者等は避難<br>(高齢者等以外の人も必要<br>に応じて自主的に避難) | 危険な場所から<br>全員避難       | 命の危険<br>直ちに安全確保!      |

### 4 避難時の心得（避難する時のリスクも知っておきましょう。無理な場合は自宅の高い場所へ）

歩いて避難できる深さは、ひざ下程度です。ただし、流れによっては足をすくわれる危険性があります。



ため池決壟による浸水被害は、貯まっている水が流出し終われば収まるため、短時間で水位が下がります。浸水が差し迫った場合は、むやみに移動するのではなく、高い丈夫な建物にとどまる等、命を守る行動をとってください。



浸水の深さが30cmを超えると自動車は走行困難になります。



裸足や長靴は危険です。  
運動靴で避難しましょう。



動きやすい服装で、必要最低限の荷物を持ち、2人以上で避難しましょう。



マンホールや排水溝に気を付け、棒等を使って足元を確認しましょう。



火の元と戸締りを確認、電気はブレーカーを落として、親類や知人等に避難することを連絡しておきましょう。



# 大沢池ハザードマップ



「ため池ハザードマップ」は、大雨や地震によって、ため池が決壟した場合に想定される浸水の範囲や深さと、避難に役立つ情報を取りまとめたものです。

いざという時にあわてず適切な避難行動がとれるように、ハザードマップの内容を確認して、日ごろからの備えに役立ててください。

#### 1 ため池の決壟について（大雨時や地震発生時には注意してください）



**ため池災害の特徴**

- 地震時は予兆なく決壟する場合があります。
- 決壟すると大量の水が短時間で押し寄せる可能性があります。
- ため池の直下では大きな被害になることもあります。

大雨が降り続いたり、地震が発生した際は、ため池の堤防が損傷を受け、決壟するおそれがあります。大雨が降っている時や地震直後のため池は危険ですので、近づかないようにしてください。

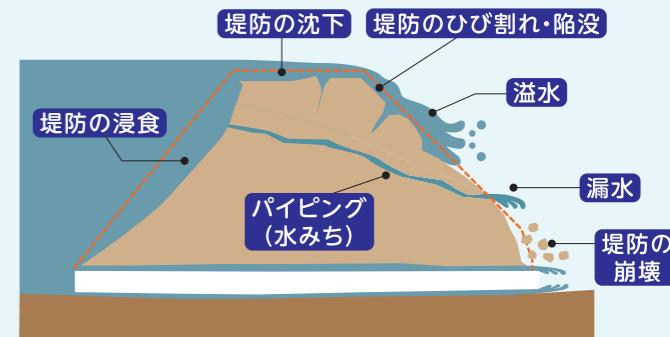
#### ■こんな時、ため池が危ない!!

##### 大雨時

- ・堤防に漏水が発生している場合
- ・堤防の一部が崩壟したり、ひび割れや陥没、沈下が発生した場合
- ・水位が急激に上昇し、堤防を越えて水があふれ出している場合

##### 地震時

- ・堤防内にパイピング(水みち)ができて、漏水が発生している場合
- ・堤防の一部が崩壟したり、ひび割れや陥没、沈下が発生した場合



#### 2 ため池ハザードマップの活用方法（日ごろからの備えが大切です）

##### 【1】想定される浸水区域や深さ等をチェックしましょう。

- 浸水の深さやはん濫水の到達時間を確認しましょう。



##### 【3】市が公表している他のハザードマップもご覧ください。

- ため池が決壟する場合は、大雨や地震等による他の災害が複合的に起きている可能性があります。市では、水害・土砂災害・地震を対象としたハザードマップも公表しているため、このマップと併せて活用し、日ごろから災害に備えましょう。



##### 【2】命を守るための行動を考えましょう。

- 自分の家の浸水状況、建物や家族の状況を踏まえ、もしもの時に命を守るためににはどのような行動をとるべきか考えてみましょう。



避難の時は、周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。他の災害に関しては、市ホームページの「京都市防災ポータルサイト」をご確認ください。

インターネットで検索

京都市防災ポータルサイト [検索](#)



# 大沢池ハザードマップ

## 凡 例

アンダーパス  
周辺の地面よりも低く、冠水しやすい道路

--- 町丁目界

○分後 はん濫到達時間

## 想定される最大の浸水の深さ

|                         |
|-------------------------|
| 3.0m以上<br>2階以上が浸水       |
| 0.5~3.0m未満<br>2階の床下まで浸水 |
| 0.5m未満<br>1階の床下まで浸水     |

